

箱根組ニュース

第352号 2022年 8月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

1

槍ヶ岳表銀座ルート五泊六日大成功！ 燕山荘の直前営業中止をロングコースで乗り切る！

出発二日前、燕山荘から従業員のコロナ感染の為営業中止のメールが入る。槍ヶ岳アタックの日以外は短いコースでのんびり行く予定が狂った。

さてどうしようと悩んだあげく、二日目をも有明温泉から大天井岳の歩行時間8時間のロングコースに変更を決定。大天荘二泊の連泊コースに変更した。体が持つかは心配だったがやるしかないと思つて三泊目の大天荘を予約した。

今回の参加者は、佐藤、有倉、三上、戸丸の4名。

さて、7月25日(月)、一日目はのんびりだ。新宿発8時の特急あずさに乗り、穂高駅に10時59分着。大阪からの三上さんは新大阪発7時57分のもので名古屋、松本経由で穂高駅に11時46分着。

三上さん到着までに、45分位ある中で、穂高駅に近い穂高神社にお参りすることにする。これがこの後の幸運に結びついたのかも知れない。境内に入つてみると立派な神社で驚く。お賽銭を投げ入

れて六日間の無事をお願いする。

駅に戻つて三上さんをお迎えして、駅前を真っすぐ左側のお蕎麦屋さんで昼食。信州蕎麦らしく美味しい蕎麦だった。蕎麦湯も美味しかった。

駅前に戻り、12時55分発の中房温泉行のバスに乗り込む。バスは山の中をどんどん標高を上げてゆき、2時前に有明温泉有明荘に到着。夕食までに時間があるので有明山に向かうルートを30〜40分散策する。

宿に戻りまずはお風呂、大きな露天風呂が付いた温泉で超満足。夕食までに時間があるので部屋でビールをいただく。夕食はこれがまた豪華版。ウエルカムワイン付のメインはビーフシチュー。美味しかった。食後もまた部屋で少しだけ。個室でゆっくり就寝。

7月26日(火)、二日目。午前四時半出発。朝食と昼食を持参してロングコースの挑戦だ。

中房温泉登山口を5時8分発。



第一ベンチ5時45分、第二ベンチ6時28分、第3ベンチ7時45分、ここで朝食。

8時33分、富士見ベンチで休憩。アルプス最高の傾斜と言われるだけにだんだんと上りがきつくなってくる。

9時21分、合戦小屋。コ罗纳で名物のスイカは販売中止。代わりに持参のオレンジを頂く。高山植物が目立ってくる。11時30分、燕山荘着。計画ではここでチェックインして、燕岳往復だったが・・・ここで昼食。宿で頂いたパンは空気で膨らんでパンパン、つぶれないようになっ

ていてなかなか美味しかった。12時30分、出発。燕岳山頂は先が長いのであきらめる。歩き始めるとコマクサの群生。株は小さいが咲き始めたばかりで美しい。この先の群生は大天井岳まで延々と続く。これだけのコマクサ

は見たことがなかった。

これが銀座通りと名前の通りの快適な道が続く。燕岳を振り返りながら進む。イワギキョウの紫がきれいだ。雷

鳥がのんびりと砂浴びしているのを初めて見た。シヤクナゲ、白山フウロ、ニッコウキスゲも。見下ろす右側は天上沢。コゴメグサが可愛い。4時18分、小林喜作レリーフ。表銀座に喜作新道を開いた、スーパードリフターだ。4時34分。大天荘へ向かう常念岳方向の分岐着。長い道のりだった。残り500メートルを休みながら必死に上り切った。

午後5時少し前、12時間半の道のりで大天荘着。着替えてすぐに夕食、もちろん生ビール付き。コ罗纳で大部屋に仕切りがついてかなり快適に寝られた。

夜中も明け方もかなりの雨が降ったようだ。

7月27日(水)、今日は連泊の為、のんびりとした予定だ。5時半朝食。

7時半頃外に出てみると槍と穂高が連なっている。4人で大天井岳を目指す、サブザックで気軽に。

8月20日(土)、21日(日)伊東の海遊び。一泊二日で伊東の海で遊びます。

20日、土曜日は、川名海水浴場で遊び、21日、日曜日は城ヶ崎の富戸の海で遊びます。

宿泊は南伊東近くの伊東小涌園で定員9名まで。

20日夕食は西川夫妻と一緒に近所のお店で

持ち物 20日の昼食、飲料水、非常食、マスク

(予備マスク)、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急

薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニ

ール袋、ティッシュペーパー、他

※海に入る人は、水着、水中眼鏡、スノーケル、タ

オル、着替え、などご持参ください。

※申し込みはお早めに 9名で締め切ります。

集合8月20日(土)

JR 東京 7:42 発 熱海行き

小田急新宿 7:30 急行小田原行き

小田原 8:57 (JR 乗り換え)

9:08 発 熱海行き

熱海 9:31 着 (伊東線乗り換え)

9:40 発 (南伊東 10:07)

川奈 10:13 着

費用 東京～川名 片道 2,645 円

新宿～川名 片道 1,908 円

ホテル代 15000 円～20000 円位

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

8時、大天井岳(2922m)山頂。かろうじてまだ槍の穂先が見えている。小屋に戻って、今度は常念岳方向の東天井岳に向かう。三上さん言うところのグダグダ散歩だ。途中雷鳥の親子に会う。雛は5羽。さかんに高山植物の花を食べている。途中から雨になり合羽を着て進む。

10時30分、東天井岳着。雨の為小屋に戻る。食堂で暖かいお茶を頂いて昼



食。午後はのんびりとお昼寝で明日に備える。夕食後も早く就寝。

7月28日(木)、夜中の1時に目が覚めて外に出ると満天の星。

3時半起床。4時半発。長いコースでメインの槍ヶ岳を指す。下り始めて30分、槍ヶ岳と穂高岳のモルゲンロート(ドイツ語で朝焼けのこと)が赤くきれいだった。槍、穂高の絶景を見ながらで中々足が進まない。写真を撮る時間が長くなる。眼下の緑の尾根を見るとこれから進む道が見える。

5時48分、急な下りを終えて鞍部にある大天井ヒュッテ着、休憩。

しばらくは樹林帯の平坦な道を進む。また尾根に上り返す。

6時42分、一気に西側の景色が広がる。ここがビックリ平だ。ヒュッテ西岳まであと2時間半とある。左端に槍も見えている。朝食会場を意識してもう少し進む。

6時52分、目の前真正面に槍ヶ岳が堂々と姿を現した、子槍は右側に。右には北鎌尾根、左にはこれから向かう東鎌尾根の岩肌も見える。絶景の朝食会場だ。とんかつ弁当、ちらしずし弁当をそれぞれ槍を見ながら頂く。朝食は30分ほどで出発。

7時38分、佐藤さんが左側常念岳の右肩に富士山を発見。まだくつきりと見えている。その先西岳直前にはきれいな花畑も多い。西岳の山頂は右方向で近いようだが、長い道のりを考えて先に進む。9時40分、ヒュッテ西岳着。小さな山小屋だ。ドリップコーヒーを注文。500円なり。

10時7分、再出発。しばらくは急な下りだ。鎖や梯子もある。左側には槍沢方面のカールと沢が見える。

11時4分、下り切ると両側が切れた馬の背。今度は岩の登りが始まる。木製の階段があり、なおも登って行く。また下って、岩を鎖で右に巻いて降りてゆく。

11時50分、水俣乗越。ここで昼食。後から来た若い女性3人は大学生だろうか、札幌から来たらしい。この後、翌朝の大槍でのご来光までお付き合いました。お弁当の大盛りofチラシ寿司を詰め込むように食べきった。雨が落ち始めてきた。合羽を着て完全装備。

12時35分出発。目の前の大きな岩を登る。そのあとも変化のある岩や樹林帯、階段や鎖と続くルートだ。

1時15分、長い階段が連続していくつも続いてこれを登って行く。

1時23分、天上沢の真横に来了。深

い谷に白い支流が集まって大きな沢になっている。

今度は長い20メートルほどの鉄の梯子を下ってゆく。振り返ってみると中々の岩山だった。ミヤマダイコンソウの黄色が鮮やかだ。岩を超え、下り、また登る。

3時27分、ヒュッテ大槍着。ガスはかかっているが正面右に大槍は見えている。雨をしのいで軒下で休憩。ここか



らが三点確保のロッククライミング状態だったが、ここから槍ヶ岳山荘までかなりの雨に見舞われた。慎重に岩を通過する。

5時前、無事に山荘に到着。やはり今日も12時間半の行程だった。

そのころには雨も止んだ。

南側の絶景の個室が空いていたので一人4000円追加でこれを確保。美味しい夕食、特に味噌汁と春巻きが美味しかった。隣で夕食を食べていた札幌の3人と明朝の大槍登頂の約束をする。

食後は個室でミニ宴会。個室から見る大槍、穂高岳方向、雲海は素晴らしかった。夕焼けが明日の好天を知らせてくれた。窓から星を見ながらの就寝はとても贅沢だった。

7月29日(金)、3時半起床。三人娘との約束の4時15分、外に出る。寒さ対策のダウンや合羽を着てヘルメットにはヘッドランプで完璧。

4時20分過ぎ、だいぶ明るくなってきたのでヘッドランプ点灯で出発。三人娘は元気に先を歩く。岩を登り鎖も使って登って行く。いくつか梯子を登り最後の梯子はほぼ垂直で10メートルほど登る。山頂着。

4時57分頃、全員登ったすぐ後に雲

海の向こうに太陽が顔を出した。きれいなご来光だ。反対側には影槍も。富士山、穂高方面、常念岳と360度の絶景を楽しんだ。

下りはゆつくり慎重に降りる。朝食の時間を過ぎていてダメもとで食堂に行くともう誰もいない。恐る恐る良いですかと聞いてみたら、「どうぞ」と対応してくれた。美味しいおでんだった。

7時50分、下山開始。今日は横尾までのルートだ。まっすぐ槍沢方面に降りてゆく。槍を惜しみながら振り返りながらの下山だ。

8時50分、殺生ヒュッテ分岐。

9時3分、二つ目の殺生ヒュッテ分岐、昔三上さんと二人で風雨の中、ルートを失って殺生ヒュッテに着いたことは忘れない。

9時56分、ヒュッテ大槍分岐を通過。雪渓はほとんど残っていないのだが、遊びのためにわざと雪渓の中に入って靴で滑るのを楽しんだ。

10時19分、水場。大量の水が湧き出ている。冷たくて美味しい。今回あまり見られなかった白いハクサンイチゲにも会えた。背の高いコバイケイソウも。

11時6分、槍沢の真ん中の草地の木に猿が数頭よじ登って遊んでいる。母猿

に見える猿が見守っているようだ。子供たちが遊んでいるのかもしれない。10頭ほどの群れかもしれない。

11時36分、天狗原分岐通過。

12時、槍沢の河原で昼食。美味しいチマキだった。

1時37分、大曲で休憩。この後もひたすら下ってゆくが長く感じる。槍沢ロッジはまだかまだかと下ってゆく。

2時54分、槍沢ロッジ。休憩。



3時15分、出発。3時40分頃梓川の横に出る。

5時前、横尾山荘に到着。二段ベットの右側に4人は落ち着く。まずはお風呂で汗を流す。石鹸は使えないが全身の汚れも落とす。ジェット水流があつて足の裏や背中にあてると気持ちがいい。そして食堂でゆつくりと夕食。自販機で買った缶ビールで乾杯、美味しかった。二段ベットによじ登るといつの間にか眠っていた。

7月30日(土) 最終日。上高地までの観光コースだ。

7時40分、山荘前と横尾大橋の前で記念撮影。来年予定の穂高方面に歩いてみようということになって、橋を渡る。

8時、屏風岩の右側に穂高岳らしき姿が少し見える。ここで元に戻ることにする。

9時25分、新村橋を渡って対岸まで。10時、徳澤園。待望のソフトクリームを食べる。

11時25分、明神館。なぜかビールを飲もうということになって、リンゴビールを全員で飲んだ。ビールとりんごジュースを混ぜたものだそうだが、疲れた体に甘みがうれしい。

12時、明神池。ここが穂高神社の奥

の宮ということで、それは明神ヶ岳そのものがご神体という気がする。

25日のスタートに穂高駅前で穂高神社をお参りしたことから始まり、無事に降りてきたことを感謝し、ここで報告した。(あまり信じてはいないが、何かの時には神頼み)

木道を通って水辺を楽しみながら進む。河童橋直前で雨が降り出し、傘を出して急いでバスターミナルに向かう。

ターミナル2階の食堂で昼食兼打ち上げ。信州そば(ラーメンの人も)に生ビール。物足りなくて冷酒とおつまみも追加してなかなかいい打ち上げになりました。

新宿行きは3時発のバス、大阪行きは3時40分のバス。それぞれ熟睡したのは間違いなしでしょう。

五泊六日無事に終了しました。表銀座ルートは最高だった！

来年は穂高岳四泊を考えています。皆さん参加できるように短めのコース設定をします。

是非ご参加ください！





















